

ファンドの特色

- 「バインブリッジ新成長国債マザーファンドI」および「バインブリッジ新成長国債マザーファンドII」を主要投資対象とし、利子収入(インカム・ゲイン)の安定的な確保を目指しながら値上がり益も追求します。
 ◇「バインブリッジ新成長国債マザーファンドI」は、米国ドル建て/ユーロ建ての新成長国債を主要投資対象とし、安定的なインカム収入の確保と中長期的な資産の成長を目指します。
 ◇「バインブリッジ新成長国債マザーファンドII」は、現地通貨建ての新成長国債およびそれと同等の価値を有する現地通貨建て国債連動債(クレジット・リンク・ノート:CLN)を主要投資対象とし、安定的なインカム収入の確保と中長期的な資産の成長を目指します。
- 当ファンドは、原則として、ファミリーファンド方式で運用します。
- 実質的な運用は、バインブリッジ・インベストメンツ・ヨーロッパ・リミテッド(PineBridge Investments Europe Ltd.)が行います。
- 実質投資対象となる新成長国の分散を図り、カントリーリスクをコントロールします。また、米国ドル建て債と現地通貨建て債の利回り格差、及び現地通貨の信頼性等を独自の手法で分析し、国別、通貨別アロケーションを決定します。
- 実質組入れの外貨建て資産については、原則として、為替ヘッジを行いません。
- 原則として、奇数月(1・3・5・7・9・11月)の25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、基準価額の水準等を勘案して分配を行います。なお、将来の分配金が保証されているものではなく、分配対象額が少額の場合等、分配を行わないことがあります。

ファンド・データ

設 定 日	2005年12月28日		
決 算 日	原則として、奇数月の25日(休業日の場合は翌営業日)		
基 準 価 額	6,415 (円)	当 期 中 の 騰 落 額	▲ 30 (円)
純 資 産 総 額	716 (百万円)		

分配金実績 (1万口あたり、課税前)

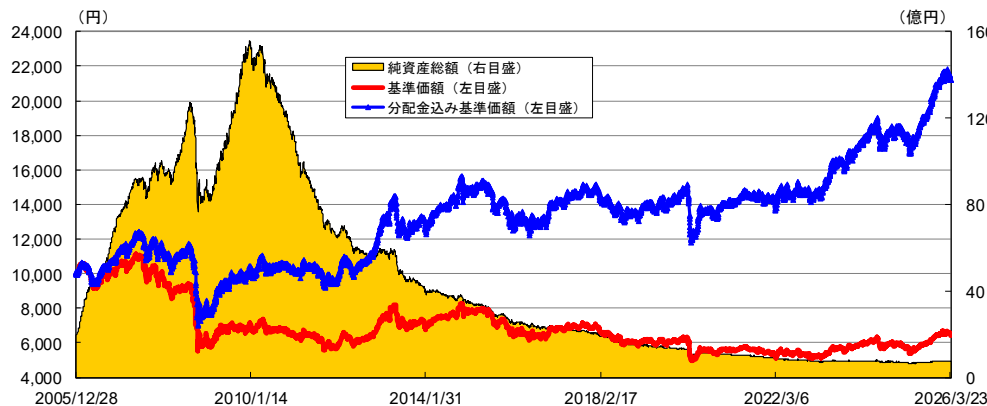
2006/3/27	2006/5/25~2009/9/25	2009/11/25~2010/5/25	2010/7/26	
150円	140円	100円	80円	
2010/9/27	2010/11/25	2011/1/25 ~ 2026/1/26	2026/3/25	設定来合計
80円	80円	50円	50円	8,330円

ファンドの収益率

	前 期 比	過 去 6 カ 月	過 去 1 年	過 去 3 年	設 定 来
レ イ ン ボ ー シ ー ト	-0.5%	8.2%	17.4%	47.1%	111.9%

* 収益率の算出には「分配金込み基準価額」を用いており、過去に支払った分配金を分配日に再投資したと仮定して計算しています。なお、再投資する際に税金は考慮しておりません。基準価額は信託報酬控除後のものです。収益率は実際の投資家利回りとは異なります。

基準価額・純資産総額の推移



* 上記の「分配金込み基準価額」は過去に支払った分配金を再投資したと仮定して計算していますので、実際の基準価額とは異なります。なお、再投資する際に税金は考慮しておりません。基準価額は信託報酬控除後のものです。信託報酬率については後記の「運用管理費用(信託報酬)」をご覧ください。

基準価額の騰落額要因分析

	2025/5/26	2025/7/25	2025/9/25	2025/11/25	2026/1/26	2026/3/25
基 準 価 額 (分 配 落 前)	5,572	5,918	6,116	6,457	6,545	6,465
当 期 中 の 騰 落 額	▲ 167	396	248	391	138	▲ 30
有 価 証 券 要 因	68	184	194	92	118	▲ 85
為 替 要 因	▲ 218	229	72	318	40	73
信 託 報 酬 等	▲ 17	▲ 17	▲ 18	▲ 19	▲ 20	▲ 18
分 配 金	▲ 50	▲ 50	▲ 50	▲ 50	▲ 50	▲ 50
基 準 価 額 (分 配 落 後)	5,522	5,868	6,066	6,407	6,495	6,415

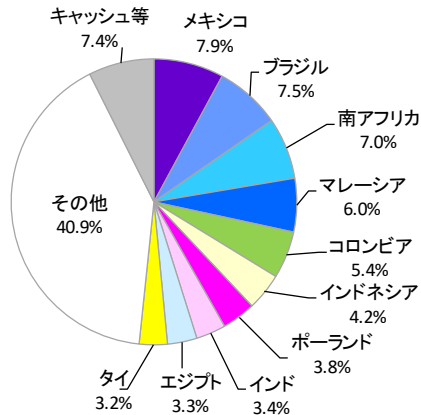
* 上記の要因分析は、委託会社独自の見解に基づいて信託財産ベースで行った試算です。また、為替要因は主として為替の変動によるものです。

■本資料はバインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様自身でなさるようお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの影響(外国証券は為替相場の影響を受けます)を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

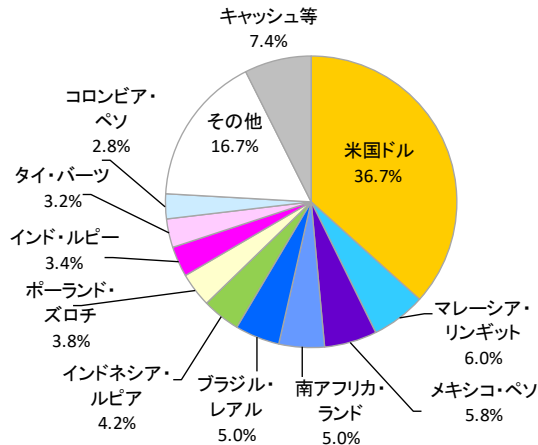
レインボーシートの組入状況

*各組入比率は組入有価証券の作成日時点の純資産総額に対する評価額の比率です。

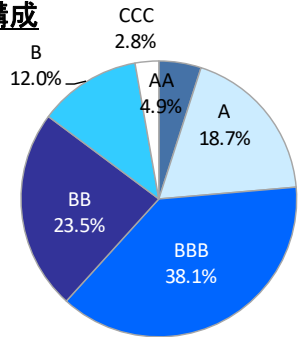
国別構成 (投資国: 38カ国)



通貨構成



格付構成



*格付構成は国際的な格付機関の格付けを基に当社基準で算出しています。

組入状況

マザーファンド I	40.0%
マザーファンド II	58.8%
キャッシュ等	1.2%

ポートフォリオ特性

平均直接利回り	7.58%
平均最終利回り	7.98%
平均デュレーション	5.73

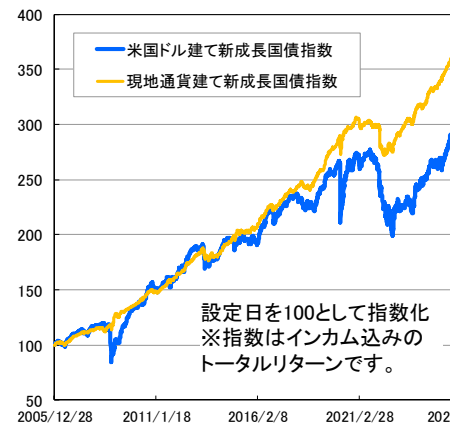
※デュレーションとは、債券を保有することによって利子および元本を受け取ることでできるまでの期間を加重平均した数値を示しています。一般的にデュレーションが大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動率が大きくなります。* 計理処理の仕組み上、「キャッシュ等」の数値がマイナスになることがあります。* 組入状況は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

<ご参考>部分のデータ: 米国ドル建て新成長国債指数はJPモルガン社のEMBIグローバル・ディバースィファイド指数、現地通貨建て新成長国債指数はJPモルガン社GBI-EMブロード・ディバースィファイド指数※各国の利回り水準は、米国ドル建て新成長国債の利回り(JPモルガン社のEMBIグローバル・ディバースィファイド指数の構成国別の最終利回り)と現地通貨建て新成長国債の利回り(JPモルガン社のGBI-EMブロード・ディバースィファイド指数の構成国別の最終利回り)の両指数に採用されている国を基に、委託会社が選定しています。米国国債の利回りはICE社の10年国債最終利回りを示しています。各利回りは指数に基づくため、償還年限は一定ではありません。新成長国債の代表指数、各国の利回り水準の日付は日本基準です。※当ファンドでは米国債への投資は行いません。

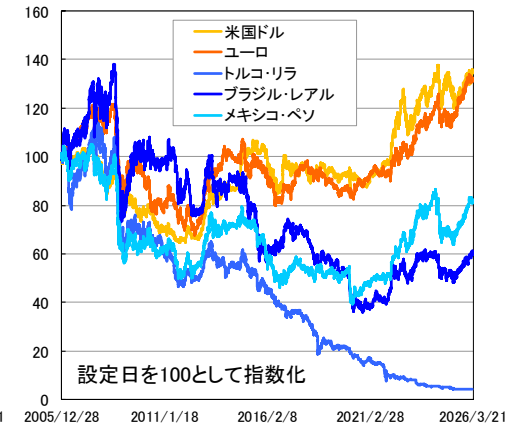
■本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様自身でなさるようお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの影響(外国証券は為替相場の影響を受けます)を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

<ご参考>

新成長国債の代表指数の推移

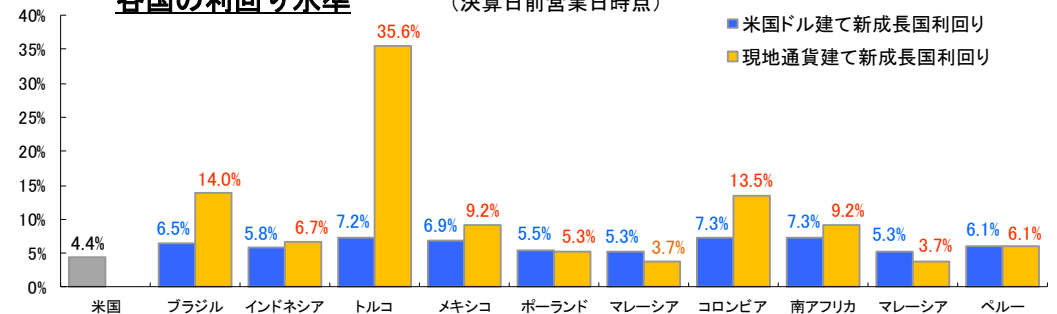


主要通貨の推移 (対円)



各国の利回り水準

(決算日前営業日時点)



主要通貨の水準	米国ドル	ユーロ	トルコ・リラ	ブラジル・レアル	メキシコ・ペソ	南アフリカ・ランド
設定日 (05/12/28)	117.51	139.31	87.15	50.27	10.94	18.56
前回 (26/2/20)	155.15	182.58	3.55	29.71	8.99	9.61
今回 (26/3/25)	158.66	184.51	3.58	30.34	8.96	9.40

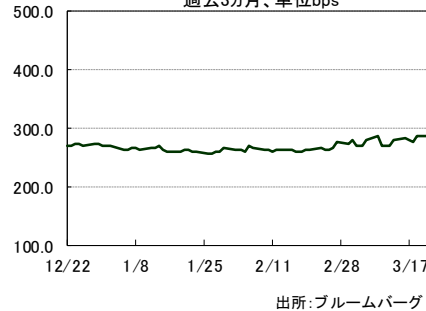
マザーファンドのコメント (2026/2/21~2026/3/23)

＜市場動向＞

当期中の新成長国債市場は、米国・イスラエル連合軍によるイランへの軍事攻撃を背景に地政学的リスクが高まり、リスク資産が下落したことから、マイナスリターンとなりました。

現地通貨建てベースのパフォーマンスも、新興国通貨が米国ドルに対して下落したことを受けて、マイナスリターンとなりました。

【米国ドル建て新成長国債と米国債の спреッド】
過去3か月、単位bps



マザーファンドII(現地通貨建て新成長国債に投資)では、当期間中、マレーシアなどの組入比率を引き上げた一方で、メキシコなどの組入比率を引き下げました。

＜運用方針と今後の見通し＞

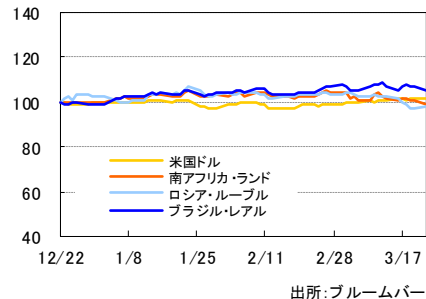
イラン戦争によりホルムズ海峡が閉鎖され、石油・ガスを中心とするエネルギー価格が急騰したことで、世界の金融市場は大きく混乱しています。その影響の大きさは、紛争の行方、海峡閉鎖の期間、ならびに生産能力への被害の程度によって左右されると見られます。新成長国市場の中にはエネルギー輸出国も多く、エネルギーや商品価格の上昇を通じて交易条件が改善し、相対的に恩恵を受ける国も見込まれます。市場のボラティリティは高水準が続く可能性があるものの、紛争が数週間程度で収束すれば、新成長国債市場は良好なファンダメンタルズを背景に底堅く推移すると考えられます。また、利回りの観点からも、グローバル債券市場の利回り水準が新成長国債と比較して相対的に低いことを踏まえると、依然として魅力的な投資対象であると考えています。

＜運用報告＞

バインブリッジ新成長国債マザーファンドI(以下、マザーファンドI)、及びバインブリッジ新成長国債マザーファンドII(以下、マザーファンドII)は、市場の変化を捉え、国別配分の調整を行いました。

マザーファンドI(米国ドル建て/ユーロ建て新成長国債に投資)は、当期間中、コロンビアなどの組入比率を引き上げた一方で、サウジアラビアなどの組入比率を引き下げました。

【新成長国通貨の推移】
過去3か月



※3か月前決算日を100として指数化

ベビーファンドのコメント (2026/1/27~2026/3/25)

バインブリッジ新成長国債インカムオープン<レインボーシート>は、当決算期末現在、米国ドル建て/ユーロ建て新成長国債に投資するマザーファンドIに40.0%、現地通貨建て新成長国債に投資するマザーファンドIIに58.8%投資し、現状における基本資産配分にほぼ近い配分となっています。

上記のような運用を行った結果、6,495円でスタートした基準価額は、債券価格が下落、実質的に保有している新成長国通貨が円安海外通貨高となったことを受けて、6,415円(分配後)で期末を迎えました。なお、投資している新成長国債等から受取ったインカム収入を中心に、1万口あたり50円(課税前)の分配金をお支払いしています。

運用コメントは、運用指図権を委託している投資顧問会社の運用コメントに基づき、バインブリッジ・インベストメンツ株式会社が作成したものです。

■本資料はバインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様御自身でなさるようお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの影響(外国証券は為替相場の影響を受けます)を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

リスクと留意点

当ファンドは、主として2つのマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に新成長国債等の値動きのある有価証券等(外貨建て資産には為替変動リスクもあります。)を主要投資対象としますので、基準価額は変動します。したがって、当ファンドは預貯金とは異なり、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。これらの運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属しますので、お申込みにあたりましては、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、お申込みください。

当ファンドが有する主なリスク要因は、以下の通りです。

価格変動リスク

当ファンドが実質的に投資する債券は、一般に、経済・社会情勢、発行体の信用状況、経営・財務状況、企業業績ならびに市場の需給等の影響を受け、変動します。組入銘柄の価格の下落は、当ファンドの基準価額を下落させる要因となります。

信用リスク

債券の発行体の財務状況の悪化等の理由による価格の下落、利息・元本・償還金の支払不能または債務不履行(デフォルト)等の影響を受け、基準価額が下落することがあります。当ファンドの組入対象となる新成長国の国債等は、先進国などの格付けが上位の国と比較して高い利回りを提供する一方、債券価格の変動がより大きく、支払遅延またはデフォルトするリスクが相対的に高いと考えられます。国債の発行国の信用力は一般的に格付会社により評価されますが、格付けが低いほど債務不履行の可能性が高いことを意味します。発行国の財務状況の悪化、社会情勢の変化等により格付けが低下することにより、債券価格が大きく下落することがあります。

金利変動リスク

金利変動により債券価格が変動するリスクをいいます。一般に金利が上昇した場合には債券価格は下落し、ファンドの基準価額を下落させる要因となります。

為替変動リスク

当ファンドは外貨建ての債券に投資しますので、為替変動リスクを伴います。一般的に外国為替相場は、金利動向、政治・経済情勢、需給その他様々な要因により変動します。この影響を受けて外貨建て資産の価格が変動し、基準価額が下落することがあります。また当ファンドは、米国ドル建て/ユーロ建て債券以外に現地通貨建て債券にも投資することから、相対的に高い為替変動リスクを有します。

流動性リスク

組入有価証券等を売買しようとする場合に、当該有価証券等の需給状況により、希望する時期および価格で売買できないリスクをいいます。この影響を受け基準価額が下落する要因になることがあります。なお、当ファンドは新成長国債等に投資することから、先進国債に比べ相対的に高い流動性リスクを有します。

新成長国のリスク(カントリーリスク)

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。また、新成長国債券投資には、先進国と比較して政治・経済および社会情勢の変化が債券価格に及ぼす影響が相対的に高い可能性があります。発行国における経済危機、政治不安、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結等の規制の導入、自然災害、戦争などの際には、通常の運用を行えない場合があり、これらの事象により基準価額に大きな影響を与える可能性があります。また当ファンドは、現地通貨建て債券にも投資することから、通貨交換が行えなくなるリスクや流動性リスクを有します。したがって、当ファンドが投資対象とする新成長国の市場は、市場環境や社会情勢の著しい悪化を受けた場合等には、投資資金を日本円に戻すのに日数がかかる場合があり、換金代金の支払日が遅延する可能性があります。

※収益分配金に関する留意点

収益分配は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて行う場合があります。したがって、収益分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。また、投資者の個別元本の状況によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。なお、収益分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金の支払いは純資産総額の減少につながり、基準価額の下落要因となります。計算期間中の運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

当ファンドのリスクは、上記に限定されるものではありません。

■本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様御自身でなさるようお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの影響(外国証券は為替相場の影響を受けます)を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

お申込みメモ

- 信託設定日 2005年12月28日(水)
- 信託期間 無期限
- 購入単位 分配金受取りコース:1万円以上1円単位
分配金再投資コース:1万円以上1円単位
(定時定額、分配金再投資コースを利用中のお客様の継続投資のみ)
- 購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金単位 分配金受取りコース:1口単位
分配金再投資コース:1口単位
- 換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金代金 原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
- 申込受付中止日 ロンドン、ニューヨークの銀行休業日と同日の場合
- 決算日 原則として、奇数月(1・3・5・7・9・11月)の各25日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 原則として、決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。
分配金受取りコース:原則として、決算日から起算して5営業日までにお支払いします。
分配金再投資コース:原則として、税金を差し引いた後、自動的に再投資されます。

※詳しくは、販売会社または委託会社までお問い合わせください。

投資信託に関する留意点

- 投資信託をご購入の際は「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。「投資信託説明書(交付目論見書)」は株式会社広島銀行の本支店等にご用意しています。
- 投資信託は元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 投資した資産価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。
- 投資信託は預金ではありません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。
- 証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社: パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第307号
加入協会/一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
- マザーファンドの投資顧問会社: パインブリッジ・インベストメンツ・ヨーロッパ・リミテッド
- 受託会社: 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 販売会社: 株式会社広島銀行
登録金融機関 中国財務局長(登金)第5号
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

お問い合わせは・・・パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
<https://www.pinebridge.co.jp/>
TEL: 03-5208-5858(営業日の9:00~17:00)

お客さまには以下の費用をご負担いただきます。

投資信託には、ご購入・ご換金時に直接的にご負担いただく費用と信託財産から間接的にご負担いただく費用の合計額がかかります。

- 購入時に直接ご負担いただく費用
 - 購入時手数料: 購入申込受付日の翌営業日の基準価額に2.2%(税抜2.0%)の率を乗じて得た額。
- 換金時に直接ご負担いただく費用
 - 換金時手数料: かかりません。
 - 信託財産留保額: かかりません。
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用
 - 運用管理費用(信託報酬): 信託財産の純資産総額に年1.76%(税抜年1.6%)の率を乗じて得た額。
 - 監査報酬: 上記運用管理費用の中に含まれています。
 - その他費用: 有価証券売買時の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の保管費用等(その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)

※費用等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。詳しくは、販売会社または委託会社までお問い合わせください。

■ 本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様御自身でなさるようお願いいたします。■ 当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの影響(外国証券は為替相場の影響を受けます)を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■ 本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■ 本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。